



平成 22 年 3 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社ティール・ワイ・オー
代表者名 代表取締役社長兼グループ最高経営責任者
吉田 博昭
(J A S D A Q ・ コード番号 : 4358)
問い合わせ先 取締役 経営戦略本部長 上窪 弘晃
電話 番号 03-5434-1586

営業外費用の発生、並びに業績予想との差異に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 7 月期第 2 四半期（平成 21 年 11 月 1 日～平成 22 年 1 月 31 日）において、営業外費用を計上いたしますので、その概要をお知らせいたしますとともに、平成 21 年 9 月 17 日付「平成 21 年 7 月期決算短信」にて発表した平成 22 年 7 月期第二四半期累計期間（連結・個別）業績予想に比べ、下記のとおり差異が生じましたので、併せてお知らせいたします。

なお、本開示における決算数値等は監査法人による監査前数値であるため、監査後決算数値等とは必ずしも一致致しません。

記

1. 営業外費用の発生及びその内容（連結・個別）

エンタテインメント事業において、事業採算性の観点から、過去の製作委員会への出資金を一括償却したことに伴い、組合出資原価償却費として 96 百万円を計上いたしました。

当社は、財務内容の健全性を確保するために、資産内容の実体を客観的に反映させることを基本方針としております。今回の一括償却は、当該出資金につき、その収益計画を基に回収可能性についてより厳格に検討した結果であり、予め厳格な会計処理を実施することで、より一層の財務体質の強化を図ることを目的としております。

2. 平成 22 年 7 月期第二四半期累計期間（平成 21 年 8 月 1 日～平成 22 年 1 月 31 日）業績予想の修正

(1) 連結業績予想の修正 (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益 又は四半期純損失	1株当たり四半期純利益 又は四半期純損失
前回予想 (A)	13,000	300	150	30	1.08
今回修正 (B)	13,580	397	171	△227	△8.21
増減額 (B - A)	580	97	21	△257	—
増減率 (%)	4.5	32.3	14.0	—	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 7 月期第 2 四半期)	15,648	310	142	△369	△13.08

(2) 修正理由

売上高につきましては、前連結会計年度におきましてエンタテインメント事業のゲームソフト部門から撤退したこと等の影響を大きく受け、前年同四半期比では減少いたしました。広告映像事業のTV-CM部門及びエンタテインメント事業のCG部門が好調に推移した結果、当初予想より580百万円増の13,580百万円となります。

営業利益につきましては、上述の売上高における増加要因と、グループ全体で取り組んでいるコスト削減施策等が奏功し、当初予想より97百万円増の397百万円となります。

経常利益につきましては、上述の「1. 営業外費用の発生及びその内容（連結・個別）」に記載の通り、組合出資原価償却費の計上が利益を圧迫するも、営業利益までの増加要因により、当初予想より21百万円増の171百万円となります。

四半期純損失につきましては、第1四半期連結会計期間において投資有価証券売却損を計上したこと、並びにTV-CM部門とCG部門が好調に推移した結果、想定より法人税等の負担が増加したことが影響いたしました。以上の結果、前年同四半期比で改善されたものの、当初予想より257百万円減の227百万円の四半期純損失となります。

(3) 個別業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想 (A)	1,300	100	100	100	3.61
今回修正 (B)	1,603	371	375	381	13.78
増減額 (B-A)	303	271	275	281	—
増減率 (%)	23.3	271.0	275.0	281.0	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年7月期第2四半期)	1,633	496	509	437	15.79

(4) 修正理由

売上高につきましては、子会社におけるコスト削減施策の提案、合併及び統合等に向けた経営管理等の業務増加に伴うグループ管理手数料増加により、当初予想より303百万円増の1,603百万円となります。

営業利益につきましては、売上高における増加要因と同様であり、当初予想より271百万円増の371百万円となります。

経常利益につきましては、上述の営業利益における増加要因と同様であり、当初予想より275百万円増の375百万円となります。

四半期純利益につきましては、上述の経常利益における増加要因と同様であり、当初予想より281百万円増の381百万円の四半期純利益となります。

なお、通期業績予想（連結・個別）については、現時点において平成21年9月17日付「平成21年7月期決算短信」にて発表した数字から修正はございません。現在、当社グループは全社的なコスト削減施策や、平成22年1月14日付「TYOグループ統合の基本方針に関するお知らせ」にて発表いたしましたとおり、グループ統合に向けた施策に取り組んでおります。当第3四半期以降も、引き続き厳しい事業環境が続くと認識してはいるものの、今後のクライアントの動向や、コスト削減施策等がもたらす効果について、慎重に見極める必要があると考えております。通期業績予想につきましては、現在精査中ではありますが、今後の市場動向及び当社グループの業績動向を踏まえた結果、見直しが必要である場合には速やかに開示いたします。

以上